

2022年6月18日 第43回課報研究会発表レジュメ

山本武利

日中戦争時の大新聞の部数拡張狂奔

—愛媛県八幡浜市大登新聞舗（大阪朝日専売店）

## 1、本社—編集と販売の両軸の有機的強化

○紙面 軍への批判から軍の侵略支援への急展開—高原操編集局長の更迭

肉弾三勇士の歌、火野葦平小説の掲載

大阪本社 とめどなき帝国主義への協賛、「満州版」「台湾版」新設

「神風」号の世界一周、献機キャンペーン

○大阪毎日との販売競争—間島事件（松山）・朝日毎日の激突・裁判

『新聞販売外史』270頁

川上富蔵『毎日新聞販売史』戦前・大阪編、349～366頁

短期での部数拡張目標達成 本社からの部数拡張支援—資金、人員、技術

各地店員の北支前線激励団派遣

○ 技術革新

新聞界への電送写真導入の契機 昭和3年 御即位御大典 大西林五郎『日本新聞販売史』

昭和6年 495頁

「篠山萩原（毎日専売店）は大きいニュースがあると本社から電話送稿を受け、自店で号外を印刷」昭和9年 川上富蔵『毎日新聞販売史』300頁

## 2、有力販売店への重点補強

○ 地方有力販売店名での号外発行—電送・印刷

「大阪朝日新聞」八幡浜号外 昭和13年1月10日発行、第148号

青島占領

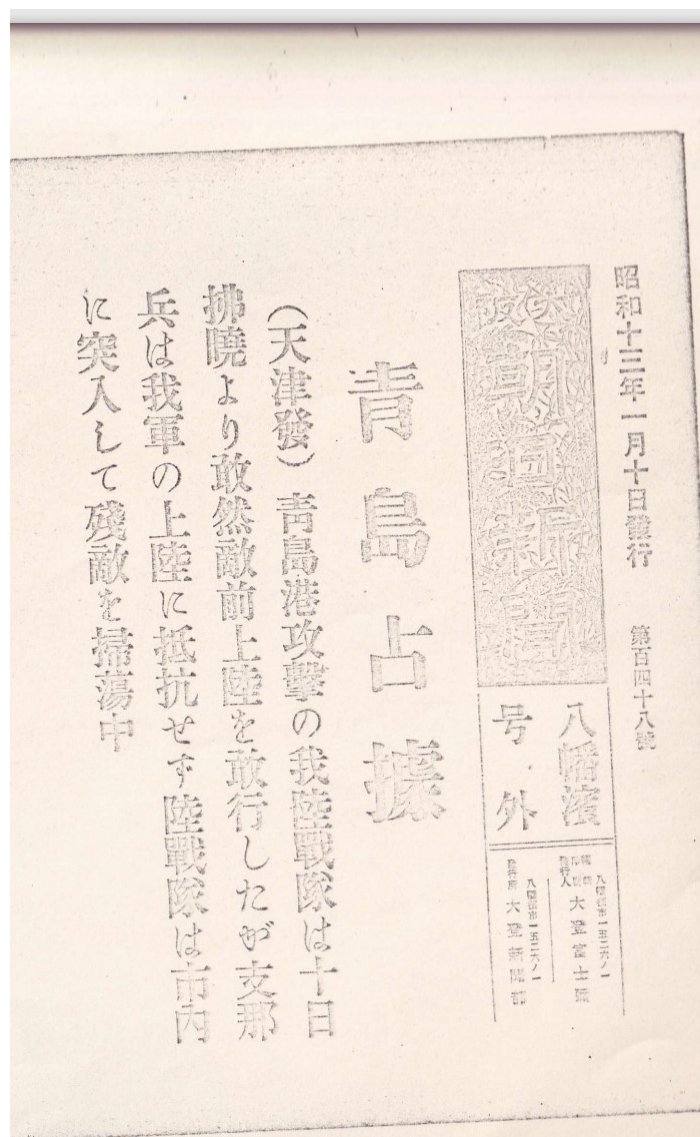
○ 豆電送 本社から販売店へ 昭和11年11月29日

本社獨占の豆電送

日支交渉を阻む  
綏東問題とは？

政治經濟  
まづ大

見事な本紙獨り舞台の  
寫眞號外として披露される  
等この傍若無人の演習にわが新聞  
界を嘩然たらしめ早くも「ニ  
ユース寫眞は豆電送」  
とまで絶賛されるに至つた。し  
かし今日までの成績は小手先へに  
過ぎない。「豆電送」の本  
格的な活躍は愈よこれ  
からだ！ 朝野泰を乞ふ



○ 地元出身兵士の生死 愛媛新聞今西晋記者資料

③郷土出身兵士の活躍 1937年9月



○ 名古屋師団の戦死者の名簿を前線本部で入手し、遺族を販売員が訪問し、写真を入手し、紙面に掲載し、遺族に感謝され、部数を増やす(『朝日新聞名古屋本社五十年史』291-2頁)。

○ 公報より早かった地方版の戦死者情報 今西光男『新聞 資本と経営の昭和史』164-165頁

○ 「大阪朝日販売月報」13・1・15 販売地方版

○ 「信陽号外」13・10・12日 第175号 販売店メモ：読者率普及率調査八幡浜市6625戸中1200部

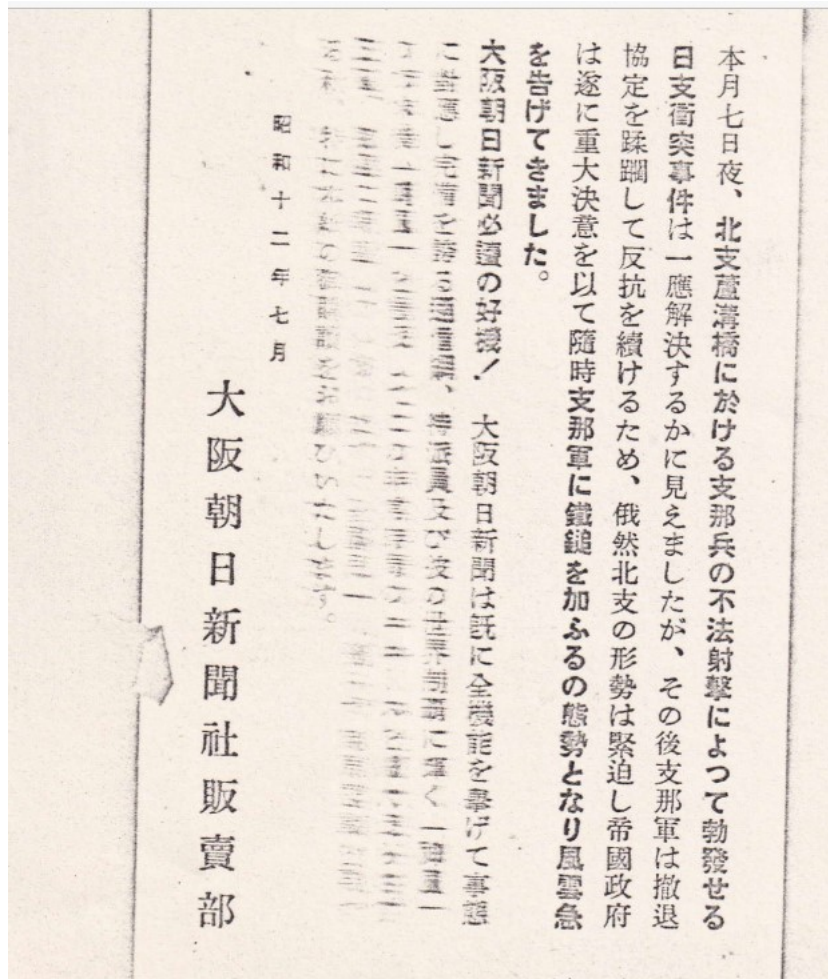
末端販売店から前線への「連絡員」の派遣

○ 従軍連絡員「大阪朝日販売月報」14・5・15 大阪本社から

記者280名 映画班47名、写真班66名、無電班42名、航空版68名

兵站庶務19名、 連絡員1100名(原稿や写真を後方基地に送ったり、連絡する一小林新聞舗から2名)『小林新聞舗の100年、121頁』





### 3、有力専売店側での本社協力

- 大登弥平への上野社長の感謝状 9・1
- 大阪での関西朝日会総会 間島（松山）、大登（八幡浜）『朝日新聞販売百年史』（大阪編）337頁
- 記者報告会 園田重廣 愛宕公会堂 cf 『清六の戦争』81頁
- 大登弥平君 大阪朝日専売所主、明治39年開業、店員7名、明治7年生まれ、家族は6名（巨人軍沢村投手の長女の婚家）、印刷業を営み洋紙、煙草の販売。発行本社への希望は自由増減。

八幡浜市には他に河野新聞店個人、店員7名、大毎扱い

川之石町、那須新聞店那須義治、個人 山本商店新聞部主山本儀平、個人  
新聞之新聞社昭和8年版



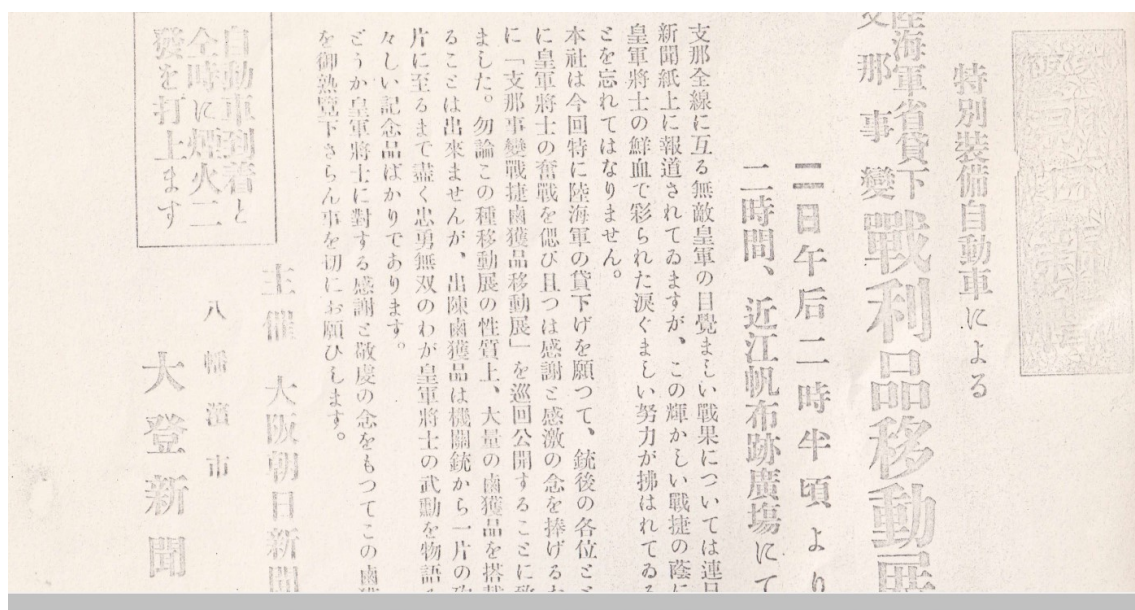
集團擴張戦は、北陸（二區）、三丹地方  
四國（二區）、大阪府及阪神、山陰地方  
山陽地方、近畿（三區）の十一地區、参  
加の集團は三十四、九州支社管内九集團  
朝日販賣の精銳が九、十の兩月に亘り、  
日頃録へし實力を相競ふときその盛體は  
蓋し未曾有のものでありませう、各集團  
の諸氏よ、誓つて榮冠を獲得せられよ。

## 集團擴張にあたり 前線諸君に告ぐ

大阪朝日新聞社販賣部

集團擴張の戦闘主力である前線諸君ノ本社管内三十四集團、九州支社管内  
九集團、計四十三集團が各總司令統率のもとに戦闘隊形を整備して各陣地に  
集結、直に展開に移り斥候を出し、尖兵を派し、すでに前衛部隊の衝突が、或  
は夜陰に乘じ或は拂曉を利しておこり、銃聲の聞ゆるさまは、まこと血湧き  
肉おどるを覺ゆるのであります、前哨戦に於てすでに、この熱烈なる氣魄と、  
戦闘精神を以て立つて居られる前線諸君であるが故に愈々白兵戦となり突撃  
戦となるさまを想像すれば、激戦實に壯絶なる光景が展開されるものと大なる  
期待をもつものであります。

昭和14年8月1日

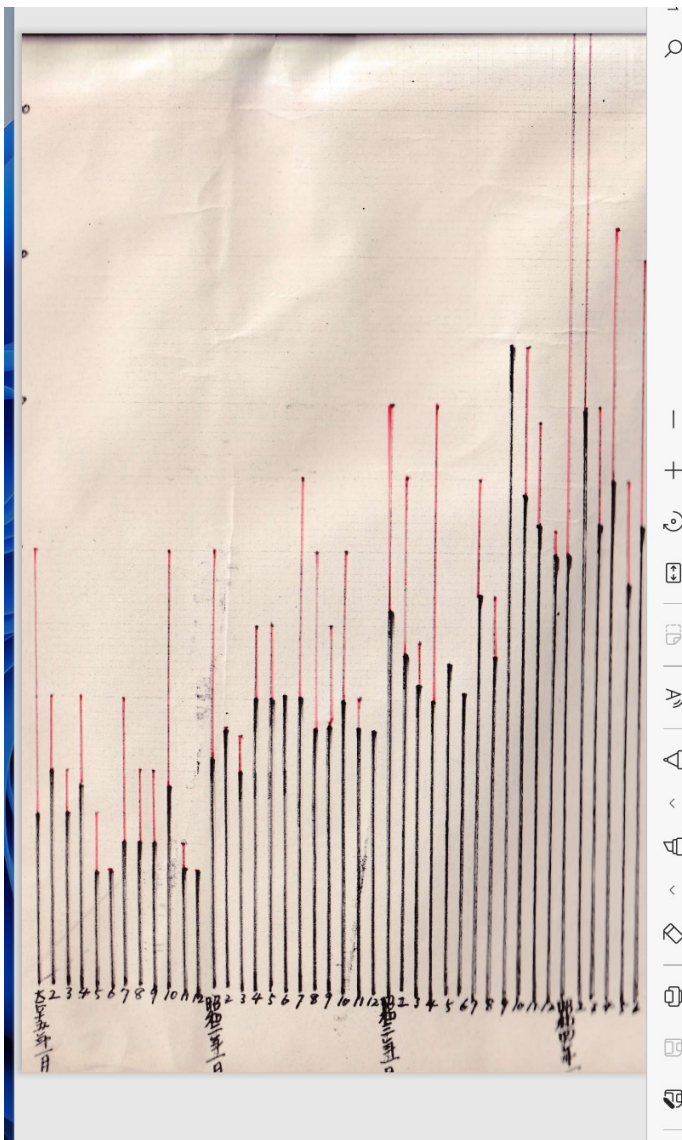


昭和12年8月13日

#### 4, 驚異的な部数拡大

- 部数増加グラフ 大正15年1月から昭和15年12月 棒グラフ  
15年間で倍増 1100部から2240部へ (千丈、若山を含む)
- 1, 大正15年から昭和5年





2、昭和11年から昭和15年  
部数1900部から2240部へ



